

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：平成31年 3月 25日

事業所名：レインボーキッズメソッド3(壬生川)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	38%	50%	12%	空間は広いがうまく活用できていないと感じることがある。落ち着いて過ごせる環境づくりができていない。	57%	30%	0%	13%	この頃、事業所内の様子とお子さんに人数を知らないのです。	より良い構造化を検討。
	2 職員の適切な配置	26%	62%	12%	利用者の人数に対して職員の体制が適切でないと感じている。	56%	22%	0%	22%	専門性はどうか？と思うスタッフもいる。	スタッフのスキル向上と個々の児童の特性の把握。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	13%	25%	62%	空間は広いがうまく活用できていないと感じることがある。個々にあった構造化をしたい。スケジュール表を掲示しているが活用されていない。	92%	4%	0%	4%		特性の理解をするため、アセスメント等を行いながら、児童の様子を見ながらスタッフ間で協議を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	38%	50%	12%	休憩スペースやカウムダウン室を設置するなどしている。	83%	4%	0%	13%		継続した環境づくり。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	25%	50%	25%							スタッフの意識付けを行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0%	63%	37%							
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	50%	25%	25%	定期的な勉強会の実施や研修等のお知らせをしてくれている。						現状での法人内での学習会の継続と、外部研修などへの参加を呼びかける。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	25%	75%	0%	アセスメントが十分に出来ていなかったりすることもある。相談支援員さんと協力しながら作成を行っている。	100%	0%	0%	0%	とても助かっています。回数が少ない。保護者の率直な意見を踏まえて、丁寧に支援計画書は出来ているように思います。	継続して、利用者さんや相談員さんと協力して作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	25%	75%	0%	レクリエーションカレンダーを配布するなどしている。	83%	17%	0%	0%		
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	62%	38%	0%							自立課題をポイントとして考えながら支援を検討していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	50%	38%	12%							今後の検討課題。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	25%	38%	37%	偏りがあり、児童によっては情報が少なかつたりすることもあるので、支援に困ることもある。						積極的に会議への参加を申し出て、自己発信をしていくなかで関係機関等と協力できる体制を整えていく。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	25%	63%	12%							今後の検討課題。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	25%	50%	25%	会社として研修等の情報伝達を行っている。						これから市も支援センターが設置される予定なので、連携できる環境づくりを検討していく。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	25%	25%	50%	事業所全体の取り組みとしてはできていないと思う。	30%	18%	9%	43%		開かれた地域社会に参加していけるように、少しずつ考えて行動していきたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0%	37%	63%							地域の公共施設等を利用しながら、認知してもらいながら取り組んでいく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	25%	50%	25%	十分、伝えきれていないと思う。	100%	0%	0%	0%	丁寧なご説明をありがとうございます。	書面だけではなく、できる限り会って話ができるよう努める。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	62%	38%	0%		96%	4%	0%	0%		長期的なビジョンを持ちながら、現在の状況を踏まえた支援計画を立案し、利用者様にイメージしやすい形で説明を行う。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	0%	87%	13%		52%	4%	18%	26%	相談するタイミングが難しいが、相談できた時には具体的なアドバイスがもらえてよかった。	外部研修に参加するなどして、スタッフ自身の知識とスキルアップできる体制を作っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	13%	75%	12%	連絡帳や送迎時に引き継ぎ等を行いながら、気になることがあれば伝えたり聞いたりするなどしている。	87%	9%	0%	4%	連絡ノートに細かく書いて下さるので様子がわかり安心していきます。スタッフによると思う。	送迎時など保護者と会話する機会を大事にし、日頃から全スタッフが情報交換できるようにしていく。
	5	37%	63%	0%		78%	18%	4%	0%		受容する気持ちを持って保護者と接する。助言などに関しては、事業所全体、会社全体で考えていく。
	6	0%	37%	63%		13%	22%	52%	13%	今のところ必要性がないので…	
	7	74%	26%	0%	苦情等があるとスタッフ間ですぐに共有できていると思う。課題として、それをすぐに話し合いの場をもつことができないときもある。	52%	22%	0%	26%	苦情があったこともないのでわからない。以前は対応が十分でなかったこともあったが、今は特に問題が起きていないので。	マニュアルを作成し、適切な流れの中で迅速に対応を行う。
	8	50%	50%	0%		78%	13%	0%	9%		子ども一人一人違うということをつかっただけで、伝え方を工夫し、それを一貫性を持って関わられるようにしていく。
	9	50%	37%	13%	連絡を取り合える関係づくりがもっと必要だと感じている。	78%	4%	9%	9%	ブログが楽しいです。連絡ノート等で問題ないです。	個人情報の取扱いについての配慮を徹底し発信していく。
	10	75%	25%	0%	課題である。個人情報の取り扱いについての意識付けを会社全体で定期的に伝えて徹底する必要があると感じる。	74%	4%	4%	18%	特殊な者に対しては配慮して頂ければ幸いです。	定期的な学習会、ミーティング等を行ってスタッフの意識を高く維持できるようにしていく。
非常時等の対応	1	38%	62%	0%		43%	22%	9%	26%	防犯マニュアルは記憶にないような…私たち一般社会人の方が学校活動等から学ばなければならない。	委員会を設置しているので、委員や担当を中心に全体に伝達しながら周知できるようにしていく。
	2	25%	75%	0%	年に数回程度であるが、計画を立てて訓練を行っている。	52%	9%	0%	39%	その時に利用してないのでわからない。非常時の避難場所はどこなのか。	定期的な防災訓練の実施。できれば、地域とも協力できる体制を考えていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の 対応 (続き)	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	38%	50%	12%	現在、取り組んでいる。						委員会の設置と学習会の中で、事例検討することでスタッフの意識改革を行う。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	0%	75%	25%							
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	37%	50%	13%							今後検討。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	87%	13%	0%	基準がわかりづらく、作成する事例なのかそうではないのか判断が難しい。						委員会の設置、事業所内だけではなく、会社全体として情報共有を行い、再発防止と事故につながらないようにしていく。